

Word の挙動・仕組みを正面から徹底説明する唯一無二の講座

『Word 原理解明講座』 @ 早稲田校

Word をずっと使っていて、「おかしいな」「思ったとおりに動かないな」と感じたことはありませんか？

その悩みは 1 人では、決して解決できません。なぜなら Word は超複雑な挙動をするソフトであり、一般的な Word のトレーニングでは挙動を読み解くことはできないからです。

この原理解明講座は、正しく Word が使えるようになるために、Word の挙動と正面から対峙した唯一無二の講座です。

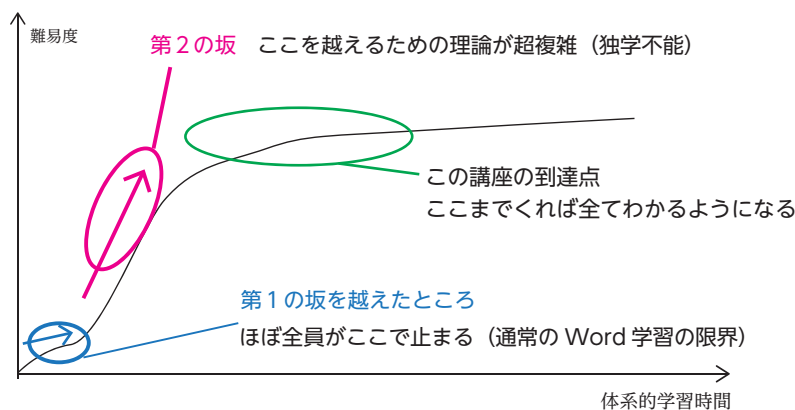
新開発のミニマル・クエスチョン方式で、どこに行っても通用するハイレベルな Word 力を身につけましょう。



Word なぜ使いこなせない？

Word に少し慣れると、「タブやインデント」「箇条書き機能」「見出しスタイル」などを使おうとする傾向があらわれますが、思った通りに使えずにつまづきます。実は、Word には「2つの坂」があるといえます。下の図を見て下さい。

図解：Word 学習時の難易度の上がり方



勾配のゆるい「第1の坂」は、最初に Word を習うときのもので、これは一般的な「Word 学習」でクリアすることができます。

しかし、その後 Word を利用していくうちにすぐに勾配の急な「第2の坂」に出会い、ほぼ全員がここでつまづきます。

たとえば、「スタイルや箇条書きを使おうとしたけれど、動かない・解除できない・余計に変になった。」という状態に陥るのです。ほとんどの人はここを乗り越えることができず、結局は「習った機能を使えない」ことに気づきます。

仕方なく、Backspace や Space で無理矢理レイアウトを整えたり、箇条書きを全部 OFF にするような強硬策でやり過ごすのです。心のどこかで、「本当は正しいやり方があるのだろう」と解決策を待ち望んでいるはずですが、どうやったら解決するのかはまったくわからずにいます。



実は、Word の最初は Excel よりずっと難しい。

Word は簡単と思われていますが、違います。本当は Excel よりも最初がハイレベルで難しいのです。Word の基礎は「複雑」で「高度」なのです。その「難しい基礎」を固めて、第1の坂と第2の坂を一気にのぼるのがこの講座です。複雑な「第2の坂」を越えるために原理追究・原理解明が必要となるのです。最初の難しい局面さえ越えれば、あとは自由自在となります。この領域に一気に到達しましょう。

この講座では、初めて「Word の第2の坂」を越えられるような厳密な挙動解析・理論解説を行っていきます。簡単な内容ではありませんが、意欲と学問的探究心があれば、初心者でも Word を一気にマスターできるとても楽しい講座になっています。



「第2の坂」を越える。ミニマルクエスチョンと原理解説。

Word を扱っていくための基礎知識や、可視化のやり方をほとんどの人は知りません。まるで「5文型を知らない学生の英文法テスト」のように全てが当てずっぽうで行き当たりばったりになるのです。Word の「第2の坂」を越えるためには、

- ① 見えないものを見えるようにする。
- ② 設定の対象階層を把握すること。
- ③ 1つ1つの不可思議な挙動を分析し、何が起きているのかを理解することが必要です。

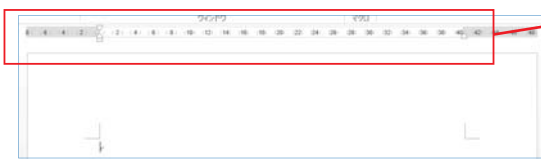
この講座では、「Word チェックドリル」「ミニマルクエスチョン」「原理解説」により、必要な基礎知識や階層の検出方法を学びながら、挙動の1つ1つを理解し、正しい解決策を学んでいきます。



Word 原理解明＝「見えないものを見えるようにする。」

Word を使いこなせていない状態では、下記のような間違っただ利用法をしているはず。この使い方では、書式設定が見えておらず、対象階層への意識も希薄となるため、正しく使えません。

!? 間違い 1 職場の「Word」を開いたときにルーラーが出ていない。



ルーラーと呼ばれる部分。
これがなければインデントを把握できない。

!? 間違い 2

段落ダイアログで、インデント設定や、行間設定を正確にかけられない。



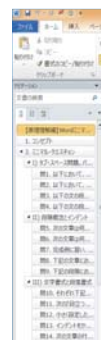
!? 間違い 3

スタイルのウィンドウを使ったことがない。



!? 間違い 4

長文のドキュメントなのに、ナビゲーションウィンドウに何も表示されていない。



!? 間違い 5 本文全体のフォントを設定するとき、下記の間所から行っている。



Word で難しいのは「入力」ではありません。「書式設定」です。書式を正しく設定するためには「今、どんな書式設定がかかっているのか」を検出していく必要があります。「書式」という「見えないもの」を「見える」ようにして扱っていくことが Word 上達の出発点です。



Word 原理解明講座 (実務基礎編 8h)

Word の原理は超複雑であり、本で学んで理解することはできない。
Word の挙動・仕組みを徹底解明し、悩まず Word を使いこなせるようになる唯一無二の講座です。
プロフェッショナルを目指す人の本格的 Word 講座です。

概要

Word 利用者のうち、99% は Word の挙動を理解していないため、「使いづらい」「気持ち悪い」と言いながら操作している。この講座は、Word の挙動に正面から立ち向かい、あらゆるトラブルに直面しながら、その挙動の真因を探り最善手を模索する講座。

Word の真の活用方法である、「箇条書き・段落番号とスタイル機能の駆使」により、一生悩まない Word 力を 1 日で養成する。また Word 分析のショートカットも多数学び、実務現場の Word マスターとなれるような圧倒的な Word 力を身につける。

独自考案のミニマル・クエスチョン方式により、時代の最前線を行く原理解明講座。

職場で Word を使いこなせる人はいません。しっかり学んで、唯一無二の Word 力を手に入れましょう。

実務基礎編 対象レベル

- ・「Word 気持ち悪いな」「Word よくわからないな」「Word 一回ちゃんとやりたいな」と感じたことのある方。
- ・企業で IT 部門や法務部門などマニュアルや契約書を多数作成する可能性のある方。
- ・正しい Word 報告書・提案書を作成できるようになりたい方。
- ・Word の「スタイル」機能をマスターし、「Word 使えますよ」と胸を張って言いたい方。
- ・卒業論文やコンサルティングレポートなど、本格的な Word 文書作成を控え、事前にきちんと学習しておきたい方。

実務基礎編 カリキュラム

【原理解明編】

- ・入力オートフォーマットの原理と解決策
- ・段落概念の認識。改行と改段落の違い
- ・Word 試行錯誤の手法
- ・Word 書式 4 階層アプローチ
- ・フォントサイズとグリッドの闘い
- ・変更履歴による添削
- ・Word 可視化のメソッド
- ・触ることのできないインデントマーカー
- ・恐るべきインデント特講
- ・Reveal Formatting の活用
- ・箇条書きとぶら下げインデント

【スタイル活用編】

- ・リスト=マトリックス理論
- ・スタイル活用こそ Word の成功への一本道
- ・アウトラインレベルと見出しの関係
- ・見出し連動型リスト
- ・HMD の導入
- ・スタイルの更新法と変更法
- ・目次の自動生成

講義の進み方

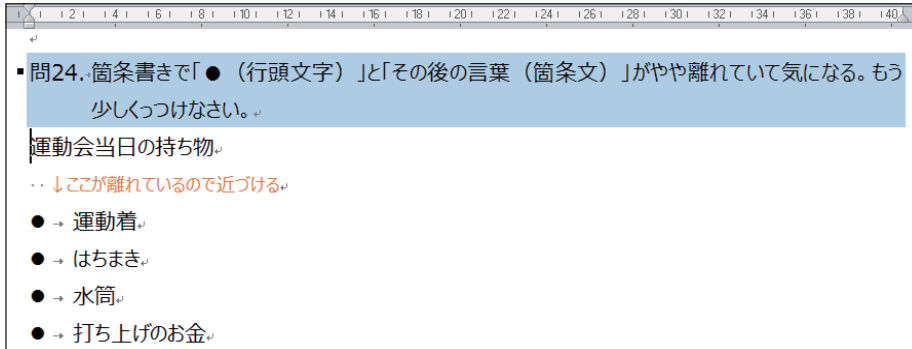
- ・通学講義で 50 分ごとに休憩が入る受けやすい講義です。集中力を切らさずに楽しく快適に学習できます。
- ・受講者は持参ノート PC での受講。プロジェクターで講師 PC の画面を投影しながら講義です。
- ・問題を解いていくミニマル・クエスチョンの後に、原理をロジカルに解説していきます。



原理解明講座の『ミニマルクエスチョン方式』

1つ1つの設問を約1分程度の単純な問題とし、身につけたい「原理」を詰め込んだ『ミニマル・クエスチョン方式』を採用。Wordの不可思議な挙動を体験し、正しい解決策を探究していく。

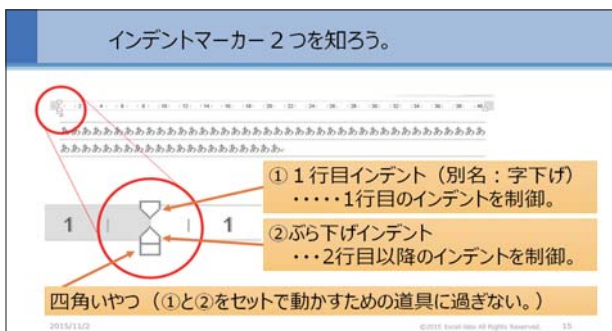
書類を作る従来の講座とは違います。「挙動を読み切る」「設定を考える」特殊なカリキュラムの講座です。



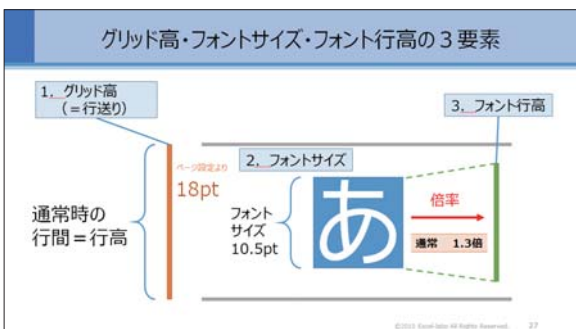
「新しい Word 原理」を構築する。原理解明講座の解説

一般的な用語や機能の使用方法に惑わされず、Wordにありがちな「不適切な機能名称」「誤解しやすい機能」などをはつきりと指摘しながら、講師独自の観点から「新しい Word 原理を構築」して解説していきます。

例1) 3つあるインデントマーカーは、本当は2つしかない。



例2) 行間設定ができないのは、グリッド高の概念が抜けているからである。



『Word 原理解明講座』 開発インタビュー



『2016年』。社会はずいぶん進歩し、Word2016も発売しました。しかし皆さんのWordスキルは、Word2003が登場した13年前から進歩したのでしょうか。ITが完全に一般化し、これだけ多くの人がWordを利用している今日であっても、「Wordは余裕」どころか、99%のWordユーザーの利用法は「その場のしぎ」な『無理矢理Word術』です。そこから脱出しようとした人もWordの難しさの前で挫折を強いられています。この講座は、その現状を打破し、複雑怪奇なWordの挙動と正面から対峙する前代未聞の講座です。「なんとなくやり方を覚えようね」という、情性・妥協のWord講座ではありません。真にWordを会得したと思えるような『原理解明講座』として講義を展開していきます。ぜひ強い意欲と探究心を持って臨んでください。

講師略歴

- ・東京大学 経済学部 卒
- ・法人研修として、監査法人 (BIG 4系)・航空会社・大手商社・保険会社・会計コンサルティングファームなど日々実施中。現場のパフォーマンス向上にダイレクトに繋がる研修で大人気。

出発の思い：「調べても調べても、Wordができない。」

－『Word 原理解明講座』。少し難しそうタイトルですね。どのような意図を持って付けられたのですか？

Wordについて、もし書籍や講習で一通り学習を終えたなら、「インデント」「表の作成」「箇条書き」みたいな1つ1つの項目のやり方を知ることができます。もし苦手な方でも過去に一度ぐらいWord本を買って、こういった項目を学習されたことがあるかもしれません。

けれども、実務で使うなかでやっぱりWordの1つ1つの挙動が納得がいかないんですよ。

「箇条書きの文章の途中で、Enterを押したら、また「・」が1つできてしまった。単に改行したいだけなのに。「・」はいらないよ。」みたいに。とにかく機能を活用しようとするほど余計に「思うように動かない」。しかもWordの場合は、ネットで調べても解決策がなかなか見つからないから、結局「Backspaceで記号を消してみたり、Spaceをたくさん入れてなんとかそれっぽく見えるように調整」するわけです。皆さんも、それでいいとは思っていないと思いますが、調べても何が正しいかわからないから、ごまかしてその場を切り抜けている。それが日本のほぼ全てのWordユーザーの現状です。少し本格的に学んだ人も同じような壁に苦しみます。

なぜ、全員がいいかげんなWordの使い方をしてしまっているのでしょうか。

答えはシンプルです。それは、「Wordは簡単。Wordはパソコン初心者だけが躓くもので、深く学ぶべき内容はない。」という想定のもとに取り組まれているからです。これが間違いのもとです。実務Excel講座の講師をしている私の立場からはっきり言いますが、「Wordは、Excelよりずっと難しい」です。その「難しい」ものに取り組むには、相当の原理と論理が必要になるということです。この講座の出発点は必ずそこからでないといけません。

Wordはなぜ難しいか。

Wordが難しい理由を2つ挙げます。

1つは「目に見えない」からです。Excelは意外と目に見える設定が多いですよ。表示形式も、今どんな設定になっているかはダイアログを出せば確認できます。しかし、Wordは1つの箇所にもどんな書式設定が掛かっているのか「目に見えない」。だから、まずはその設定というものを「可視化」していくプロセス、言ってみれば透明人間に色付きスプレーをかけるようなプロセスを踏まなければいけません。

2つ目は「1つの現象」の起因となる操作が「いくつも可能である」が、「実は階層・強制力が違う」というものがあります。

たとえば、<文字を赤字にする>という結果を引き起こすためのやり方は無数にあります。「1. 該当の文字をドラッグして、フォントの色を赤に」というやり方もあれば、「2. 文字強調スタイルをかけてフォントの色を赤に」というやり方もあります。

またある段落にインデントをかけるやり方も、「インデントをかけたスタイルを作成し、そのスタイルを適用する」というやり方もあれば、「インデントマーカーを引っ張って1段落ずつ設定していく」というやり方もあります。

今、同じ結果を引き起こす複数のやり方を説明しましたが、これらは「対象階層」が異なるので、解除方法や設定変更方法が全く異なるものとなっていきます。

このように、Wordは「目に見えない」設定というものを扱いながら、「対象階層」を意識して、どんな挙動・設定となるかを読み切っていかなければ扱えない高度なソフトです。この高度なソフトを「なんとなく理解し、簡単に使う」ということはできないのです。

「講座の時間的コストパフォーマンスが高い」ということを私は実務 Excel 講座でよく言います。Excel は投下時間に対して得られる業務効率化のインパクトがどんな学習よりも高いという話です。Word では、確かに「月 10 時間かかっていた作業を月 1 時間に短縮したよ!」という実務 Excel 講座のような時間短縮はないかもしれません。

ただし、それ以外の部分では、Word 原理解明講座の効果は、明白です。

1. Word の一挙手一投足を追究することで、はじめて正しく Word の各機能を活用できるようになる。
2. 会社で唯一「Word の正しい使い方」を知っている人間になれる。
3. 一度、しっかり学べばこれから Word のトラブルを解決できるようになり、一生 Word で悩まずに済むようになる。

私は、「究める」ということをとても大切だと思っています。特に日々使うツールである Word や Excel においては、「曖昧な使い方でも何十年も苦労するぐらいなら、先にきちんと学んでおいた方が良い」という考え方をしています。

決意と、学問的探究心と、向上心。本質を理解する唯一無二の Word 講座。

一度学べば一生役に立つ。だからこそ、「Word は簡単だから、テキストにやり過ぎせいでしょ。」と軽視せず、正面から「難しい Word」と向き合って欲しいと思います。「Word では、時間短縮がどうのこうの」と人はいろいろ言うけれど、私は、「Word という汎用ソフトをきちんと正しく使えること」それ自体に、すごく価値があると思っています。そういう「ベストなあり方」を追究する姿勢がこれまでの IT 教育の世界には欠けているとも思っています。

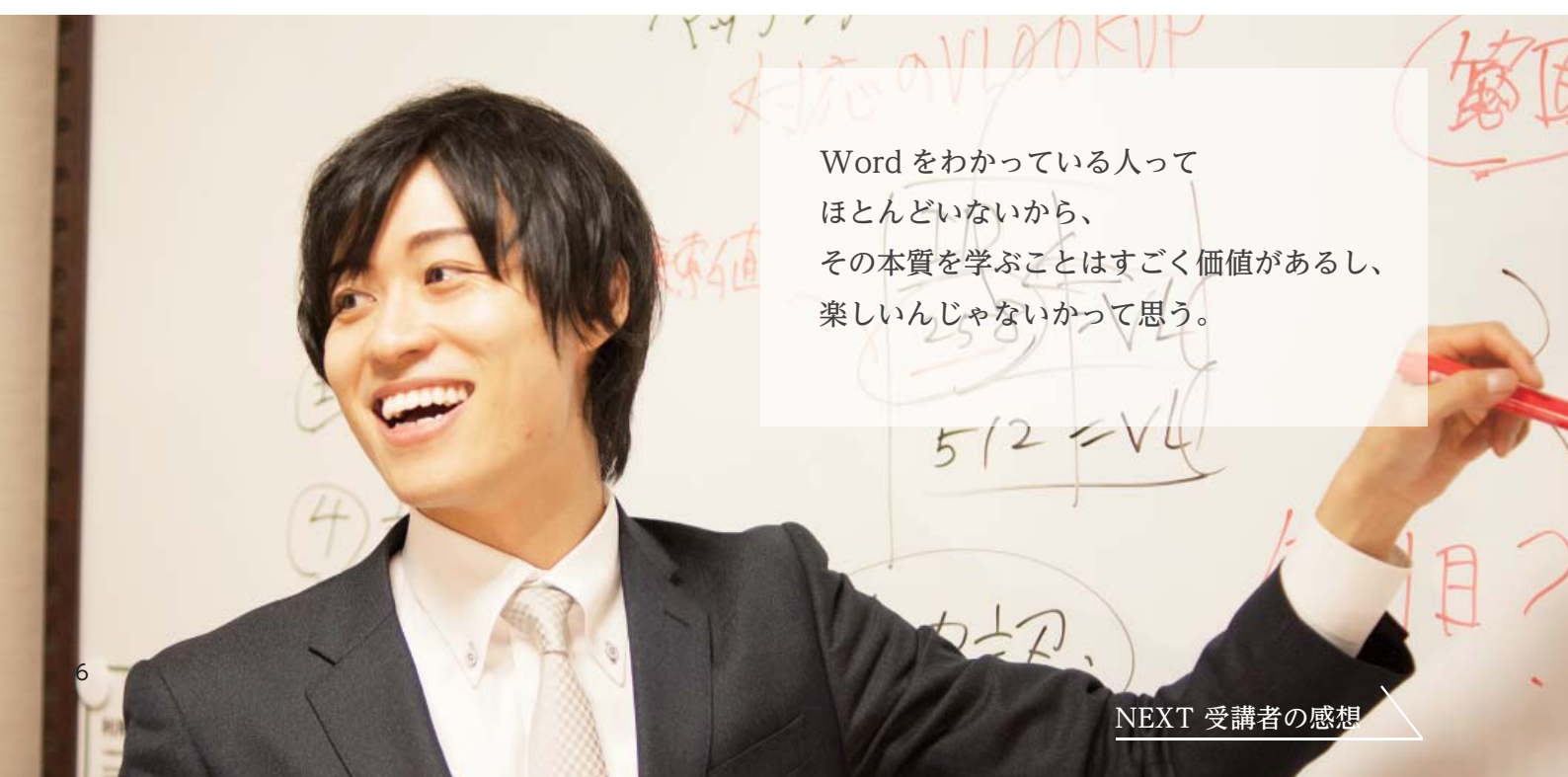
この講座の受講者は、Word を少し触ったことさえあれば予備知識は不要。Word の機能や基礎についてあまり知っていなくても全く問題ありません。ただ、絶対に必要なのは、「難しい Word を学んでやるんだ」という強い決意と、「Word の原理を探究し挙動を読み切る」という学問的探究心、そして「Word をマスターした自分になりたい」という向上心です。

簡単な Word 講座ではありません。

だからこそ、初めて Word の本質を理解できる唯一無二の講座になっています。

「Word 原理解明講座」。意欲と志ある「プロフェッショナルでありたい」皆様のご参加をお待ちしています。

講師より



Word をわかっている人って
ほとんどいないから、
その本質を学ぶことはすごく価値があるし、
楽しいんじゃないかって思う。

「Word 原理解明講座」受講者の感想まとめ

※事前に開催された「Word 原理解明講座」開発用モニター講義受講者の感想となります。



10点

「Word 講座が始まってすぐに、Word がいかに奥が深いかを思い知らされました」27歳 経理職

「Word で習うことなんてあるのかな」と思っていたのですが、最初から知らない知識の連続でびっくりしました。先生が「Excel よりも Word の方がある意味難しい」とおっしゃっていましたが、本当にそうだと思います。Word は「なんかおかしいな」といつも思って使っていましたが、道理で使いこなせないわけだと、講座を受けて納得しました。初級者向けの Word 講座は世の中にたくさんあると思いますが、ある程度 Word に慣れた人が本当に使いこなせるようになるために、ここまで明確に原理・挙動を説明される講座は他にないと思います。実務 Excel 講座の原理解説に感動した人で、Word の本当の使い方に興味がある人なら、絶対に受けたほうがいいのではないのでしょうか。



10点

「箇条書きやオートコレクトのメカニズムが学びたかったけど、それ以上の恐るべき収穫」33歳 技術職

Word は「勝手に動く、謎のソフト」という認識がありました。(Enter を押したときに、思いもよらない結果になる)。マニュアル作成が多く、膨大な資料でも正しく箇条書きや段落番号の管理がしなかったので受講しました。あと、オートコレクトも使いこなしたいと思っていました。実務 Excel 講座も前に受講したのですが、相変わらず先生の解説には驚異を感じました。行と段落の違いから始まり、「目に見えない Word」を「目に見える」ように解説していくわけで、『独学不能』を確信しました。日本全国で Word が使われていますが、ちゃんとわかっている人はほとんどいないと思います。Excel のときも思いましたが、一度きちんと学習するだけでその後永続的にドキュメントの品質が上がり、ビジネスの現場で胸を張れるスキルがつかうので、本当に受けて良かったです。



10点

「ここでしか学べない貴重な Word1 日講座。普段使っていて困る点にフォーカスしたベストな内容」
(21歳大学生)

Word の短期講座は探してもここしか見つかりませんでした。ベストだと言える素晴らしい講座でありありがとうございました。レポート提出のたびに、Word がうまく動かずに大変な思いをしていたのですが、今回の講座で原因がはっきりわかって本当に助かりました。続編が出たら絶対受講します！よろしくお願いします！



10点

「少し難しめだけれど、原理解説こそ従来の Word 講座に足りなかったもの。」
(大手コンサルティング会社 コンサルタント)

想像の遥か上をいく講義。「スタイル」機能によって、見出しを一瞬でつけるというのがやりたくて参加したのですが、なるほど Word は本当に難しいんですね。書式の4階層構造理論が目がさめました。「基礎が一番難しい」ということを Excel 講座でも感じましたが、Word の基礎は非常に繊細に作られていて、指摘されなければ一生気づけなかったと思います。てっきり Word 講座なんて、インデントとかタブをちょっと習うのかなと思っていましたが、まさに見えない「挙動と原理」のオンパレード。「挙動を読み解く」という言葉がふさわしい講座ですね。今までどこにもない、Word と正面から向き合った講座として、実務 Excel 講座と並び、実務界のスタンダードになる講座と確信しました。先生頑張ってください。



10点

「Excel 講座を受けていたので、先生の Word 講座なら凄いいんじゃないかと思って参加しました！」
(40歳 事務職)

Excel 講座で目からうろこだったので、好奇心余って Word 講座にも出てみました。さすがです！思ったよりも Word が複雑なのにまず驚きましたが、こうやって「ソフトの挙動を読み解く」という作業はビジネスパーソンにかなり重要な作業ですね。もう一生 Word には困らないと思いました。ずっと Word には悩んでいたけど、初めてしっかり使えそうで嬉しいです。スタイル機能って本当に凄いですね。先生、ありがとうございます！